

ニュースから考える

税理士の佐藤です。緊急事態宣言下の外出自粛の影響は私たちの生活に大きな変化をもたらしています。



飲食店・観光施設に加え大規模商業施設も閉鎖を余儀なくされ「**楽しみたい**」という気持ちを

皆さんも我慢している事でしょう。

一方、「**儲けたい**」という本能がコロナ禍で拡大中です。昨年の JRA の馬券売上が 17 年ぶりに 3 兆円を超え、地方競馬(対

前年 130%)、オートレース(対前年 135%)、オートレース(対前年 128%)等のいわゆるギャンブルがネットの普及で増加の一途です。また、以前にご紹介したように「**蓄えたい**」という本能もタンス預金(100 兆円超)として現在進行中です。

今、厳しい状況に置かれている方はこのタンス預金が市場(私たちの商売)に放出される日を信じて苦境を耐え忍びましょう・・・。

1分でわかる業務カイゼン

「儲けたい」

ビットコインの暴騰、暴落がニュース等で話題になっていますが私も含め「自分に関係ないので・・・」と聞き流している方も多い事でしょう。

しかし、日経新聞(5月28日)によると韓国では、少額から始められる手軽さから大学生の**4人に1人**がビットコイン等暗号資産投資を行っているようです。



全世界の仮想通貨取引の1割を韓国が占め、借金して投資している若者も多く、今回の突然の4割急落で破産者が続出しかねないと記事は指摘します。

「一発逆転」

厳しい競争を勝ち抜いて就職しても、不動産価格の高騰で給料だけでは家も買えない。親の世代まではありふれた幸せが自分の世代では手に入れられなくなっていると韓国の若者は強い焦燥感を抱いており「**人生逆転の数少ない手段が仮想通貨や株式への投資**」のようです。

政府の金融委員長が若者が仮想通貨投資にのめり込む現状に「**(若者が)誤った道に進むのなら、それは間違いだと大人が言ってあげないといけない**」と、若者を諭し、規制を検討すると発言をしたところ政府のHPに批判が殺到し大炎上したようです。若者にしてみれば「藁にもすがる」思

いをつぶされては大変と思っているので
しょう・・・。

「逆張」

今の状況を変えるために一発逆転を考えるのは韓国の若者に限らず世界共通のものです。投資やギャンブルで一攫千金を目指す手法として「逆張」があります。

株なら株価が下落している株を大量購入、競馬なら不人気馬で高配当！。しかし、短期的な視点で考えるとたまに**まぐれ**もあるでしょうが・・・いつまでも続きません。

商売に例えれば小売業の「格安」販売、飲食店だと「朝ラーメン」、「大盛」等、TVで注目される(一般的ではない販売方法)に賭ける事が逆張なのでしょう・・・。

社会を知らない若者の一発逆転と違って、私たち経営者は経験で「逆張」は長続きしない経営戦略だと知っています。



「人の行く裏に道あり花の山」

この言葉は、**相場格言**で千利休が詠んだ句を語源とすると一説で言われています。

「きれいな花を求めて山に行くのであれば、誰も行かない裏道を行った方がいい。しかも、**きれいな花が散らない間**に行くのがいい」。



つまり、人が多い道を避けて、たまには裏道を行け、そうすると誰も知らない花の山(成長企業・ビジネス)があると言う事なのでしょう。

しかし、ただ「裏道(逆張)」を歩けば良いという事ではありません。そこには新しい道(未来)を見極める**先見の明**と**勇気**が必要と説いているのです。

「みんなが良いと言っているからGO!」・・・逆張で「誰も注目していないからGO!」ではなく自分の考えで、自分の道を決める・・・それが大切なのかも知れません。

今月は知らない道を散策する、新しいお店にチャレンジする等々・・・コロナ禍でも出来る**新しい楽しみを探す**月間にしては如何でしょうか！

今月のことば

辛抱強さや冷静さは

知能指数よりも重要かもしれないと私は思っています。

(ウォーレン・バフェット)

編集後記:

日本の商社への投資で注目を浴びた投資の神様 バフェット氏ですが、彼の投資ルールは「**自分が理解できるビジネスを展開しているかどうか**」を重視しているようです(IT株は無視)。これはとても参考になる教訓です。「自分の知らない、得意ではない分野」では戦わない。もしかすると・・・長期にわたって事業成功(失敗しない)させる究極の秘訣なのかも知れません(寿)。